

## 会 議 録

会議名		平成30年度第2回相模原市障害者自立支援協議会				
事務局 (担当課)		相模原市社会福祉事業団 障害者支援センター松が丘園 電話 042-758-2121				
開催日時		平成30年10月30日(火)午後1時30分~午後3時30分				
開催場所		障害者支援センター松が丘園3階・研修室				
出席者	委員	出席 18人 欠席 4人				
	その他	/				
	事務局	5人 市：障害政策課 1人 社会福祉事業団：常務理事 生活相談課長 他2人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		/				
会議次第		1 開会 2 議 題 (1) 各関係団体および関係機関からの報告 (2) 研修について (3) 各部会報告 (4) その他 3 事務連絡 4 閉 会				

平成30年度第2回相模原市障害者自立支援協会委員名簿及び出欠状況

No	区分	所属・職	氏名	出欠
1	障害者等関係団体	相模原市障害福祉事業所協会 会長 (やまびこ工房 施設長)	なかじま ひろゆき 中島 博幸	出
2		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (福)らっく 理事長)	すずき すみえ 鈴木 純恵	出
3		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (くりのみ学園 施設長)	いまい やすのり 今井 康雅	出
4		相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長	おの あきこ 小野 明子	欠
5		(福)相模原市社会福祉協議会 福祉推進課長	たどころ まさし 田所 雅	出
6		相模原福祉オンブズマンネットワーク スーパーバイズオンブズマン	きづ よしえ 木津 芳江	出
7		相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	さが じゅんじ 佐賀 淳司	出
8	指定相談支援事業者	橋本障害者地域活動支援センター ぷらすかわせみ 施設長	なかたに まさよ 中谷 正代	出
9		子ども相談支援リボン (NPO法人ワンダートンネル理事長)	ちや ふみこ 千谷 史子	欠
10	障害者等及び その家族	(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 副会長	はねだ ひさし 羽田 彌	出
11		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 理事	しまもり まさこ 島森 政子	出
12		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 理事	かたおか かよこ 片岡 加代子	欠
13	保健・医療関係者	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 (北里大学東病院医療ソーシャルワーカー)	だいなか たく 提中 拓	出
14	教育関係機関の職員	神奈川県立相模原中央支援学校 総括教諭	のざき まゆみ 埜崎 真弓	出
15		教育局学校教育課担当課長	みやはら さちお 宮原 幸雄	欠
16	関係行政機関の職員	健康福祉局福祉部障害政策課長	あしの たく 芦野 拓	出
17		健康福祉局福祉部精神保健福祉センター 所長	しくら くりえ 宍倉 久里江	出
18		健康福祉局福祉部南障害福祉相談課長	いしづか さちこ 石塚 祥子	出
19		こども・若者未来局陽光園主幹(兼)療育 相談室長(兼)発達障害支援センター所長	なかじま しげゆき 中嶋 成享	出
20		こども・若者未来局南子育て支援センタ ー所長	すずき ようこ 鈴木 葉子	出
21		こども・若者未来局児童相談所 総括副主幹	あきま ゆたか 秋間 裕	出
22	学識経験者	田園調布学園大学 教授	むらい ゆういち 村井 祐一	出

## 審 議 経 過

主な内容は次の通り。

### 1 開会

### 2 議 題 ( は会長、 は副会長、 は委員、 は部会長、 は事務局の発言 )

#### (1)各関係団体及び関係機関からの報告

##### ア (特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会

- ・市民の方へ障害に対する理解・啓発を目的とし、障害者週間のキャンペーンや講演会の開催について報告した。

##### イ 精神保健福祉課

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業について資料を基に説明した。

##### ウ 相模原市重症心身障害児者ネットワーク

- ・学校卒業後の進路に関するアンケート結果報告書及び人工呼吸器を装着している重症心身障害児者の通所利用に関する意見交換会報告書について、資料を基に報告した。
- ・今後、市内でアンケート結果等の説明会を開催する予定があるため、関係機関への周知に関して際に協議会に協力を依頼した。

重要なテーマであるため、協議会で協力する。

##### エ 発達障害者支援センター

- ・講演会の案内(11月18日開催)

#### (2)研修について

- ・資料を基に説明した。

「福祉と教育の連携のあり方を考える」をテーマに研修を実施する。(12月4日実施)

これまでも福祉分野と教育分野は連携の必要性を感じていた。今回の研修がお互いを知る第一歩となるように研修の進め方等を検討している。

#### (3)各部会報告

##### ア 権利擁護・虐待防止検討部会

- ・資料を基に報告した。

##### イ 相談支援事業所等連絡・調整部会

- ・資料を基に報告した。

##### ウ 相談支援技術向上部会

- ・資料と基に報告した。

#### (4) その他

- ・ 本日の議題に関する意見交換。

##### 【重症心身障害児者】

重症心身障害児者の通所利用に関する意見交換会報告書という形で纏められていて、現場の声がわかりやすい。横のつながりの大切さを再認識した。相模原市重症心身障害児者ネットワークの報告書については職員で情報共有をする。

医療的ケアが必要な児童について、地域での見守りが重要であることから、災害時の対応について保健師が指導している。就学前から、地域の資源に繋げることができるとよい。

医療的ケアが必要な方の災害時の支援については行政を含めた意見交換が必要ではないか。

報告書を見て重症心身障害児者の現状を理解することができた。

##### 【福祉と教育の連携】

市内の学校では「学校へ行こう週間」として、授業参観や学校開放を積極的に実施している期間がある。福祉と教育の連携を図るために「学校へ行こう週間」を活用して、教育機関と障害福祉サービス事業者等が交流できるとよい。

##### 【意思決定支援】

津久井やまゆり園の利用者に対して意思決定支援を実施している。一人ひとり、子どもの頃まで遡って丁寧に振り返ることで、今後の支援方針の検討につなげている。

親の立場から考えると、個別支援計画策定会議、サービス等利用計画面談等で急に聞かれても答えられないことがある。事前に本人のことを記録していくことが意思決定支援の基礎になると感じた。

##### 【地域包括ケアシステム】

既存の施設や機能と連携し、相模原の特性にあわせたシステムの構築を期待する。

相談支援専門員が地域課題を吸い上げ、発信する必要性を感じた。

地域移行を進める際に、グループホーム、通所等の体験が必要であるが、交通費、交通手段が課題となる。特に緑区では交通機関が不足しているため、課題であり、地域移行が進まない一因となることがある。

4 事務連絡 研修のお知らせ

5 閉会

次回開催 平成31年2月19日(火) 10:00 ~  
障害者支援センター松が丘園